

【FdData 中間期末：中学歴史：飛鳥時代】

【壬申の乱】

【問題】(2 学期中間)

次の文の①，②に適語を入れよ。

天智天皇の死後，皇位をめぐる(①)の乱が起きたが，これに勝利して即位した(②)天皇は，天皇中心の政治を推し進めた。

【解答】① 壬申 ② 天武

【解説】

【**壬申の乱** (672年)】

天智天皇の死後，天皇の位をめぐる争い

勝利した大海人皇子が即位 → **天武天皇**

大化の改新以来，30年近くも政治にあたっていた

てんじ 天智天皇(即位前はなかのおおえのおうじ中大兄皇子)が死去した翌 672

年，天智天皇の子であるおおどものおうじ大友皇子に対して，天智

天皇の弟であるおおあまのおうじ大海人皇子がきょへい挙兵して天皇の位を

めぐる戦いがおこった。これをじんしん壬申の乱という。

(無理な争い 2人(672)でし) 大海人皇子は各地の

兵力を結集して勝利をおさめ，大友皇子はじがい自害して

果てた。戦いに勝った大海人皇子は，即位して

てんむ
天武天皇になった。壬申の乱によって、大友皇子側について有力中央豪族が没落したことで、強大な権力を手にした天武天皇を中心に中央集権的国家体制の形成が進んだ。このころ、天皇の^{けんい}権威が高まり、神としてあがめようとする天皇の^{しんかくか}神格化が始まったとされる。天武天皇は、ふたたび^{あすか}飛鳥に都を移して律令や歴史書の編^{へん}さんを命ずるなど、新しい政治のしくみを強力につくりあげていった。天武天皇の死後は、^{こうごう}皇后であった^{じとう}持統天皇が事業を引き継いだ。持統天皇は、道路によって^{ごばん}ごばんの目のように区画された、日本ではじめての本格的な都である^{ふじわらきょう}藤原京をつくるなどして、律令制度を実施する準備を整えた。

[問題](2 学期期末) s

天智天皇の死後、その子(大友皇子)と弟(大海人皇子)の間で天皇の位をめぐる争いがおこった。これについて、次の各問いに答えよ。

- (1) この戦いを何というか。
- (2) この戦いに勝った大海人皇子は、即位して天皇となった。この天皇の名を書け。
- (3) (2)の天皇が移した都の地名を答えよ。

[解答](1) 壬申の乱 (2) 天武天皇 (3) 飛鳥

[問題](1 学期期末)

次の文の①, ②に適語を入れよ。

天武天皇の死後は, その皇后が(①)天皇として即位し, 日本ではじめての本格的な都である(②)京をつくるなどして, 律令制度を実施する準備を整えた。

[解答]① 持統 ② 藤原

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sr1/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com